

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4076200403
法人名	地域福祉研究所有限公司
事業所名	グループホーム えだくに
所在地 (電話番号)	福岡県飯塚市枝国439番地 (電話) 0948 - 22 - 5900

評価機関名	株式会社アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成20年8月27日	評価確定日	平成20年10月15日

【情報提供票より】(平成20年8月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤	10人, 非常勤 0人, 常勤換算 5.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り 1階建ての1階部分
------	---------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	(水熱費) 15,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	516 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1,166円			

(4) 利用者の概要(8月19日現在)

利用者人数	17 名	男性	1 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2		3 名	
要介護3	4 名	要介護4		6 名	
要介護5	3 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 86 歳	最低	72 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大庭医院 / 小嶋病院 / ふじい歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

豊かな自然環境に囲まれた田園風景の中に「グループホームえだくに」は立地している。近くには、大型ショッピングセンターや商店街もあり、利便性が高く住みやすい環境にある。ホームの方針として「寝たきりにさせない、ならない」ように、毎日、日課として、午前・午後は機能訓練として散歩を行っている。重度の方も車椅子に乗って散歩していただけるように働きかけている。ホームの壁には、大きな手作りの「地域マップ」があり、小学校・保育園・コミュニティ施設・飲食店・スーパーなどが描かれ、ホームの位置や地域の施設がどこにあるか、わかるように工夫している。地域で生まれ、育った運営者は「いかにして目立たず、地域に溶け込むホームづくりができるか」を考え実践している。入居者の重度化に伴い、医療機関との連携もよく、日中の活動意欲を高めるために所長・管理者・職員と共に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点は、事業所独自の地域密着型サービスとしての理念の検討(食事の献立(量・嗜好・味付け・栄養バランス等)の検討が挙げられている。についてはグループホーム5年目に相応しい理念を作成、大きな字体で見やすい位置に掲示されている。については食の安全性を第一に、主食は自作米を年間を通して食べられるなど工夫している。健康面に配慮しながら、疾病管理の献立など工夫している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員でミーティングを行う際に自己評価の取り組みについて話しており、評価結果を受けとめ改善に向けて取り組むことを職員間で共有している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は定期的開催している。会議は、地域との関わりやグループホームの理解を高める場として活用している。会議の内容は、献立・医師の指示・職員の接遇など多彩なテーマを検討している。献立に関しては、運営推進会議で家族・行政と共に検討している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>玄関の棚の上に意見箱を設置している。面会時や行事の際には、家族とのコミュニケーションを図り、本音で意見や意向を言っていただけ関係づくりに努めている。家族から意見を頂いた場合には、電話連絡などで迅速に対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会への加入に加え、積極的に地域行事への参加や交流を行っている。日常的には、散歩時にあいさつや声かけを行い、地域との関係づくりを図っている。毎年、ホーム主催で行われる作品展の告知は、日頃から交流のある、たこやき屋・スーパー・保育所・小学校にポスターを貼って頂いたり、作品展当日に枝国公民館の協力により、参加の放送を流して頂くなど、地域住民の参加をPRしている。また、毎年行われる飯塚市主催の歩こう会に入居者が参加するなど、健康維持のためのスポーツイベントにも参加している。地域との関係を大切にしたい取り組みを行っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念	前回の評価結果を見直し、地域密着型サービスの役割を理念に反映し、「地域に根差して、安心安全な生活、元気で楽しい生活、家族と同様」を掲げ、独自の理念をつくりあげている。理念は、「地道に自然体で地域に溶け込み、暮らしていくことを目指す」運営者の思いが込められている。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	理念の共有と日々の取り組み	理念の共有化を図るために、管理者・職員が話し合う時間を持ち、管理者・職員・入居者が共に唱和し、地域で安心して楽しい暮らしができるように理念の実践に努めている。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい	町内会への加入に加え、積極的に地域行事(リサイクル活動や敬老会・草取り・ごみの収集など)への参加や交流を行っている。日常的には、散歩時のあいさつや声かけを行い、地域との関係づくりを図っている。毎年、ホーム主催で行われる作品展の告知の協力を日頃から交流のある、商店や公民館に協力して頂き、地域住民の参加をPRしている。飯塚市主催のスポーツイベントにも参加し、地域との関係を大切にしたい取り組みを行っている。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用	前回の評価結果を真摯に受けとめ、地域密着型サービスの役割を理念に反映するなど、改善に向けた取り組みを行っている。自己評価についても、ミーティングなどで話し、外部評価の意義を管理者・職員で理解し取り組んでいる。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議は定期的開催されている。会議は、地域との関わりやグループホームの理解を高める場として活用している。会議の内容は、食事の献立・医師の指示・職員の接遇など多彩なテーマを検討している。献立に関しては、運営推進会議で家族・行政と共に検討している。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携	飯塚市より派遣される介護相談員を月2回受けている。また、飯塚市主催の研修などの情報を入手し、研修受講を行っている。今後は、さらに情報交換などを行い、ホームが抱える問題など相談できる関係づくりに期待したい。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を活用している入居者は現時点ではないが、嘉飯桂地区・飯塚市主催の人権研修に参加し、人権に関する意識を高めている。職員への伝達研修を行っている。また、司法書士との連携も図っている。		
		管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。			
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告	毎月、「えだくに通信」を送り、行事報告や外出の様子をお知らせしている。家族には、入居者との接点を大切にしている。また、利用料の実費支払いや季節の衣替えなどの際には、必ずホームを訪れて頂くようにしている。その際、家族とのコミュニケーションを図るように努め、行事に家族が参加する際にも家族の意向を把握するように努めている。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	家族からの意見や不満・苦情などを把握するために意見箱を設置している。運営推進会議で家族に意見や意向を言っていただくよう取り組み、改善に関しては、えだくに通信で報告している。また、入居者の不満や苦情は、介護相談員より、匿名で知らせて頂き、早急に運営面に反映していくよう取り組んでいる。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	異動や離職については最小限に抑えるように努めている。異動などで職員が換わる場合は説明を行い、管理者が気配りを重視しサポートできる体制がある。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。	職員の採用にあたっては、性別・年齢等に関係なく、働く意欲や必要な人材であるかを基準にしている。また、職員が問題や悩みを抱えている場合は、食事会を行うなど、悩みやストレスの軽減に努めている。職員の資格取得なども勤務ローテーションを工夫するなどサポートする体制がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	嘉飯桂地区・飯塚市主催の人権研修があり、職員が能力に応じて、研修を受けることができるように勤務ローテーションに配慮している。また、職員同士で学習会を設けている。研修の参加・受講の感想など、記録の充実が求められる。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	職員の能力に応じて、医療・介護の質の向上を図るために勉強会を定期的に行っている。また、職員の将来のスキルアップも視野に入れ、積極的に資格取得を支援している。実際に勤務と看護学校の両立を行った職員もあり、現在、その両立を目指している職員もいる。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	グループホーム4ヶ所と交流があり、相談できる関係にある。今後は、同業者間で更に関係づくりに取り組みたいと考えている。同業者のネットワーク化を図り、認知症介護の理解を育む活動を期待したい。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	一般的に緊急の入居などを求められることが多いが、まず、家族・入居者本人が見学し、理念など理解し納得後、安心して入居できるように支援している。また、入居者の状態によって、職員体制に無理が生じないように考慮し入居を決定している。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	調理や洗濯物たたみ・茶碗洗い・散歩の際の車椅子の手伝いなど、手伝っていただき、入居者が役割を持ちながら、暮らしていくことを支援している。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式は採用していないが、生活歴や趣味などについては、入居以前のことを家族と話し合い、情報収集し、ケアプランに反映している。入居者の幼少の頃や若い年代の時期を思いおこしてもらえるように、会話の中から引き出し、趣味などを取り入れる努力をしている。更に入居者の生活歴など、日々の暮らしの中で職員が引き出す工夫が求められる。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員全員で均等なサービスの質を提供できるように、生活リハビリ・レクリエーションなど、アイデアを取り入れ、介護計画を作成するように努めている。アセスメント票などの充実により、入居者のこれまでの暮らしの継続など、更なる本人本位の介護計画が望まれる。</p>		
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の個別の業務日誌があり、毎日の目標(例えば足踏み 回、ヒップアップ 回など)の実施状況を記録している。毎日、目標に対し、達成状況がわかるようになっている。日々の機能訓練の達成状況により、次のプランに活かすように取り組んでいる。日常の中での本人の楽しみや生きがいにも焦点を当てた介護計画の工夫が求められる。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>地域の中では単独の4ユニットグループホームである。お互いのユニットが合同でにぎやかに交流しチームの連帯感を育てている。敷地内に多目的ホールもあり、施設の行事やボランティア活動の披露などに活用でき、年間を通して、楽しみごとが多いように取り組んでいる。</p>		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>大庭医院の月2回の往診があり、緊急時には飯塚病院・市民病院などの医療施設との連携体制がある。安心して適切な医療が受けられるように医療体制が構築されている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	看取りの実績はあり、看取りの方針を定めている。対応については、研修やミーティングで話し合い、入居者や家族の意向にそった重度化や終末期に支援を行っている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの個性を尊重し、言葉かけや対応に配慮している。記録や個人情報は事務所の書類棚に管理・保管している。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	入居者の暮らしのリズムを大切に体調に配慮しながら、日課である午前・午後の散歩など声かけを行いながら支援している。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	食事の際には、職員は入居者のそばで声かけしながら、食事を楽しめるようにしているが、時には職員が入居者と共に食事を食べるなど工夫が求められる。共に食事をすることで、食事に関する職員の意見を把握し、より楽しく美味しく食事ができるのではないかと考えられる。また、食事の際にBGMを流すなどリラックスできる工夫を期待したい。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	入浴は週3回行っている。皮膚疾患の方が多いため、個別対応で曜日や時間帯は変更し、清潔を保てるように支援している。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	洗濯物干し・たたみ、食器洗い・テーブル拭き・新聞折りなど役割を持って頂き、日々の暮らしにメリハリを付け、日々、自然体で過ごしていただけるように支援している。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	日課として午前・午後の散歩を行い、近所への外出も支援している。また、徘徊があり外出した方が安心する場合には、職員がついていき見守っている。近所のスーパーへ食料品や日用品の買出し・大型スーパーでの季節ごとの衣料品の購入など買い物を楽しんでいただけるように支援している。定期的に外食に出かけたり、買い物ツアーも行っている。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4)安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	外出しそうな行動を察知した場合、さりげなく声かけをしたり、一緒に散歩したりと、玄関に鍵をかけないケアを実践している。夜勤帯は20時に安全確保のため施錠している。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	防火訓練は年2回実施している。運営者が桂川一日防火教室に参加している。町内会の方の協力が得られるように運営推進会議でも話し合っている。消防署の防火訓練の際に地域の方を巻き込んで一緒に行えるように働きかけを期待したい。消防訓練は年2回が義務づけられており実施を期待したい。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	食事に関しては、特にたんぱく質の摂取量を増やす・果物を毎日摂取するなど、会議でも検討を行っている。食事は疾病などを考慮し、献立が立てられている。また、市内のグループホームを訪問し、献立表を参考に検討を行うなど、具材や量・色合いなども検討している。入居者の希望や意向にそって、パンの日・たこ焼きの日・外食の日・ご飯を腹いっぱいの日など、食事の満足感を高める取り組みを行っている。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	共用空間は、高い天井により開放感がある。キッチン是对面式で家庭的な空間となっている。2ユニットを結ぶ長い廊下は、歩行訓練の場となっており、入居者の機能訓練の場として活かしている。壁には、外出や見学を愉しんだ写真・手作りの作品などを飾り、照明は間接照明で目に優しい色を取り入れている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	一人ひとりの居室の入り口に、職員の手による入居者の似顔絵や思いを綴った文章が掛けられ、入居者が自分の部屋として認識できる工夫を行っている。居室は、畳やフローリングの部屋があり、個々の使い慣れた物や季節の洋服が掛けられ、居心地の良い空間となっている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			